



---

## メジャーリーグ選手会(MLBPA)と基本合意書を締結 「少年野球等育成支援」「野球ファン拡大」「チャリティ活動」 日米双方の野球界発展を目的に相互協力を確認

---

日本プロ野球選手会は、7月23日、札幌で行われた大会に特別参加したメジャーリーグ選手会(MLBPA)及びその関連会社である OneTeam Partners、OneTeam International と、日米双方の野球界発展のための提携関係について協議の上、相互協力のための基本合意書(LOI: Letter of intent)を締結するに至りましたので、ここにお知らせいたします。

日米の選手会は、共に選手と球界のために尽力するという目的を持ち、また長い歴史を有するメジャーリーグ選手会の経験には言うまでもなく学ぶ点が多いことから、数十年に渡る協力関係を築いてまいりました。日米球界にとっても、野球をプレーする少年たちの健全な育成環境の支援や、選手会視点での新たなビジネス機会の創出やファンサービス、そしてプロ野球選手の持つ影響力を社会貢献に生かす活動の発展は、ますます重要であり、大会では、すでにメジャーリーグ選手会が実施している以下のプログラムの事例をもとに協議が行われました。

### 【少年野球等育成支援】Players Way

2023年に「Players Way」を発足、少年たちに、より高いレベルの指導を受けられる機会を提供することを目的に、少年野球における指導方法の改善や、勝利至上主義からの脱却、野球に打ち込む子供たちが楽しみながら高いモチベーションを維持するようなプログラム(野球教室、キャンプ、大会その他各種イベント)に現役およびOBが参加しています。

### 【選手主導のビジネス、ファンサービス】 OneTeam Partners/OneTeam International

MLBPAは、トレーディングカード、ゲーム、アパレル等、選手の肖像権を活用したライセンスビジネスでも知られていますが、50年以上の歴史の中で、グッズやサービスも多種多様となっており、ファンのニーズを先取りしたサービスを提供する姿勢と仕組みを確立、その活動は野球市場の拡大にも貢献しています。そしてそのような活動は、MLBPAがアメリカンフットボールのNFL選手会とともに2019年に設立したOneTeam Partnersによって他のスポーツにも広がり、またその国際部門として2024年に新設されたOneTeam Internationalによって、国際的にも広がっています。

### 【社会貢献】 Players Trust

選手が野球の力を使って社会に貢献できる機会を増やすことを目的とするプログラムで、その中には、選手がさまざまな社会貢献プログラムの中から参加を選択できる形のものもあり、例えば大谷翔平選手も命に関わる病気と闘う子どもと家族を支える『ミラクルズ・フォー・キッズ』へ寄付を行っています。当会も同様の「ドナルドマクドナルドハウス」や防災啓発や災害時の初動を支える「選手会ファンド」等、社会貢献事業を実施していますが、Players Trustの活動を、今後の改善、拡大に生かしたいと考えております。

当会では、こうした知見の共有を足がかりに、当会が掲げてきた“選手視点での球界活性化”の観点から、会員

である日本人選手も含めた、積極的な意見交換や討議を、メジャーリーグ選手会と行っていく所存です。

メジャーリーグ選手会(MLBPA)からの参加メンバーは下記の通りです。

トニー・クラーク MLB 選手会・専務理事

ヨナス・ベア＝ホフマン OneTeam International 代表、MLB 選手会・スペシャルアドバイザー

デビッド・ジョン・ワビック MLB 選手会・Players Way 担当